令和6年11月発行　No.72

いわくに市議会だより

See（シー）議会

12月 3月
令和6年 第3回 定例会
9月 6月

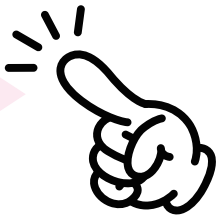
【錦帯橋世界文化遺産推進フォトコンテスト2024】
岩国市議会議長賞を受賞されました。

「桜、錦帯橋、川の風景」
撮影者：横田澄枝さん

目　次（主な内容）

- 定例会ハイライト …… 2
- 議案と審議結果 …… 3
- 委員会審査報告 …… 4
- 市政を聞く（一般質問） …… 6
- 全員協議会の報告 …… 13
- 委員会の視察報告 …… 14
- 委員会の活動報告（意見交換会） …15
- 錦帯橋フォトコンテスト受賞作品の展示 …15
- 表紙写真の公募 ……16

9月 定例会 ハイライト



令和5年度の一般会計・特別会計の決算など議案等32件を可決

9月定例会は、8月27日に招集され、9月25日までの30日間の会期で開催されました。定例会の初日には議案等が47件上程されました。

一般質問は、9月5日から10日までの4日間（休日を除く）で、21人の議員が登壇して行いました。各常任委員会は12日から18日までの4日間（休日を除く）で開かれました。

最終日には、議案等32件を原案どおり可決し、閉会しました。

【9月定例会の日程】

月 日	内 容
8月 27日	本会議初日
9月　5日	一般質問
9月　6日	一般質問
9月　9日	一般質問
9月 10日	一般質問
9月 12日	経済常任委員会
9月 13日	教育民生常任委員会
9月 17日	建設常任委員会
9月 18日	総務常任委員会
9月 25日	本会議最終日

災害復旧費の増額などの補正予算を可決

1 保育所等安全対策事業費　377万5,000円　新

新規事業として、保育園等において、子供の安全対策を図るための、パーティション、簡易更衣室、防犯カメラなどの整備に必要な経費を計上。

2 担い手農家育成事業費　1,469万8,000円

農業の担い手の育成・確保のための経費を計上

うち、がんばる農業経営体支援事業費補助金　633万8,000円

補助金の申請件数が、当初の見込みより増加したため、補助金を増額。

うち、地域農業資源リノベーション事業費補助金　836万円　新

新規事業として、新規就農者等が中古の農業用機械等を利活用する際の経費の一部を補助。

令和5年度の一般会計及び特別会計の決算を認定

例年どおり、9月定例会にて、前年度の一般会計及び特別会計の決算を審議しました。

議案と審議結果

【全会一致で可決した議案等】

▼諮問

人権擁護委員の推薦について（3件）

▼決算

令和5年度岩国市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市周東食肉センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市観光施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和5年度岩国市工業用水道事業会計決算の認定について
令和5年度岩国市病院事業会計決算の認定について
令和5年度岩国市下水道事業会計決算の認定について
令和5年度岩国市簡易水道事業会計決算の認定について

▼議案

令和5年度岩国市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
令和6年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
令和6年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
令和6年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第1号）
令和6年度岩国市観光施設運営事業特別会計補正予算（第1号）
令和6年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第1号）
令和6年度岩国市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
岩国都市計画地区計画岩国駅前南地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例
岩国市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例
岩国市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員定数条例の一部を改正する条例
岩国高校記念館耐震等改修工事請負契約の締結について
いこいと学びの交流テラス整備工事（A工区）請負契約の締結について
岩国市新科学センター展示製作業務委託契約の締結について
岩国市中央公民館新築電気設備工事請負契約の締結について
財産の無償譲渡について
柳井地域広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び規約の変更について
岩国市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【賛否が分かれた議案等】

※議決結果　○＝可決、認定、承認、同意、採択　×＝否決、不認定、不承認、不同意、不採択
※議員の賛否　○＝賛成　×＝反対　※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。 ※欠＝欠席
※会派名の略称は次のとおり　共産党＝日本共産党市議団、市政改革＝市政改革クラブ、市民＝市民クラブ・草の根、声＝市民の声をきく会、リベ＝リベラル岩国、日本国民党岩国＝国

件名	議決結果	憲政会							志政いわくに				公明党議員団				共産党			市政改革			同志会		市民		声	リベ	国
		植野正則	片岡勝則	貴船斉	桑原敏幸	瀬村尚央	武田伊佐雄	松川卓司	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	川口隆之	広中信夫	細見正行	石原真	山本辰哉	重岡邦昭	広中英明	中村恒友	姫野敦子	石本崇
令和5年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度岩国市一般会計補正予算（第2号）	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×

委員会審査報告

常任委員会

QRコードから
委員会審査報告全文が
御覧いただけます

経　済

認定第1号
令和5年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

決算のうち、市内経済の活性化に係る企業振興費や移住・定住促進に係る地域活性化推進費を含む商工費、そのほか労働費や農林水産業費等について審査を行った。

市内企業にとって、より利用しやすいよう制度の充実を求める！

問 店舗魅力向上リニューアル事業の実績について問う。

答 令和2年度から開始し、令和2年度に26件、令和3年度に25件、令和4年度に13件、令和5年度に12件、合計76件の利用実績があり、利用された方からは大変好評をいただいている。しかし、現在、この事業は複数回の利用を認めていないこともあり、利用件数は減少傾向にある。

問 今後の事業展開はどのように考えているのか。

答 先般開催した中小企業等振興審議会では、これまでの利用者に対して公平な制度となるように、5年間のインターバルにより再度の利用を認める案を提示したところ、委員から、より短い期間で再利用できるように検討してほしいという御意見を頂いた。それを踏まえて事業の内容を改めて検討しているところである。

教育民生

認定第1号
令和5年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

決算のうち、民生費においては、渡船料助成事業の渡船利用券の交付枚数や年齢要件の妥当性などについて審査を行った。

柱島地区の方々の高額な渡船料の負担軽減を求める！

問 渡船料助成事業の概要について問う。

答 柱島地区に在住する70歳以上の高齢者等に年間48枚、月当たり2往復分の渡船利用券を交付する事業である。

問 渡船料は大変高額であり、住民の負担は大きい。月当たり4往復できるよう渡船利用券の交付数を増やしたり、年齢制限の緩和や撤廃などの対応はできないか。

答 敬老優待乗車証を利用すれば渡船料が半額となることから、こちらも併せて活用していただくことで、柱島地区在住の方の社会参加等を促進していきたい。

問 半額でも往復1,860円かかる渡船料の負担は、社会参加や地域活性化の阻害要因となり得ると考えるが、これらの事情を考慮した上で施策の見直しの検討はできないか。

答 離島という特殊な環境の中で、高齢化や人口減少の進展により、厳しさを増す状況に対し、手厚い支援が必要であることは理解している。社会情勢の変化に応じて、これまでと違う見方をして施策を検討していきたい。

常任委員会では、付託された議案などの審査を行い、その経過及び結果を本会議で報告します。本ページでは、審査報告のうち、特に市民の皆様にお伝えしたい審査の経過を抜粋して御紹介します。

建　設

認定第1号
令和5年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

決算のうち、環境衛生費の動物保護管理事業に関し、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金制度の内容について審査を行った。

飼い主のいない猫の保護団体へさらなる助成をお願いしたい

問 この制度は、対象を個人から団体まで広げてきたが、保護団体に助成するに当たっては、飼い主のいない猫を不妊・去勢手術の助成対象として事前に登録することが要件となっている。しかし、登録していない猫が保護されるケースが多い状況となっており、これらの猫も保護の必要があるため、助成の対象に追加することはできないか。

答 まだ制度的に不十分な面がある。今後、保護団体が活動しやすい環境づくりに向けて、制度の柔軟な運用について検討していきたい。

問 猫を保護する際の餌は、猫の保護団体が自費で購入している。保護に要する経費として補助はできないか。

答 費用がかかる部分については、保護団体の方から話を伺って、可能な限り、制度による対応について考えていきたい。

総　務

認定第1号
令和5年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

決算のうち、消防費の災害対策費に関連して、災害発生時における避難体制づくりに向けた防災協定に関する市の取組について審査を行った。

安全なお寺や神社等との防災協定の締結を！

問 本市における防災協定の締結状況について問う。

答 市が現在結んでいる防災協定の件数は、85件である。主な内容としては、避難所、応急仮設住宅の設置をはじめ、機材等のリース等や食料・飲料水の提供、相互応援などがある。

問 国の避難所運営ガイドラインでは、自治体による避難所の指定において、お寺や神社等の施設の利用を検討することが示されている。長い歴史の中で災害に見舞われながらも現存し、安全な場所ともいえる神社等の施設と、市は防災協定を結んではいかがか。

答 避難所については、より多いほうが望ましいと考える。御提案の神社仏閣等との協定の締結については、ハザードマップ等により立地等の危険度を把握した上で、適切なところに関しては、前向きに検討していく。

市政を聞く

9月定例会では、21人の議員により市政全般にわたる幅広い質問が行われました。

QRコードから各質問の動画が御覧いただけます

代表質問

※会派（構成員３人以上）を代表して行う質問のこと

日本共産党市議団
松田一志 議員

米軍岩国基地問題と美和町太陽光発電所問題

問 **海兵隊の機種更新による騒音問題について問う。**

答 騒音状況は現在より広がらないと考えている。

問 **オスプレイが配備されることの問題点について問う。**

答 政府は独自に安全性を確認している。

問 **米兵犯罪の通報手続が守られていない問題について問う。**

答 犯罪予防、プライバシー保護等を前提に、地方自治体への情報提供は必要。

問 **今津川でPFASが検出された問題について問う。**

答 環境省や山口県に対してモニタリング調査を実施するよう依頼する。

問 **美和町の太陽光発電所建設の造成工事による諸問題の解決について問う。**

答 市は生活・自然環境の保全を目的に、事業者と「協定書」を締結しており、これを基に協議を行っていく。事業者と地元の方との協議も実現するよう努力する。

安心して飲める水道水を、次世代へ！！

問 **水道管の老朽化対策や破損の修繕、交換に、DXやAI、衛星を用いた最新技術を導入すれば、水道料金等の負担軽減につながるか。**

答 新システムを導入することで、一時的には負担が大きくなるが、長いスパンで考えれば、その効果も見込め、負担軽減につながる。

問 **PFASの検査について。本市の水道水は大丈夫なのか。**

答 浄水場16か所で検査を行い、PFASの暫定目標値（1リットル当たり50ナノグラム）を下回る、1リットル当たり5ナノグラム未満という結果である。

市政改革クラブ
川口隆之 議員

憲政会
瀬村尚央 議員

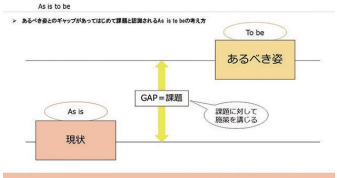
岩国市デジタル田園都市構想総合戦略

問 **ゴールである数値目標を適切に設定しないと、他のKPIを設定する施策に大きな影響を及ぼすと考えるが市の見解を問う。**

答 次期総合戦略においては、KPIを積み上げた結果、基本目標を達成することを念頭に置いて、数値目標やKPIの設定を検討したいと考えている。

問 **課題分析フレームワーク「As is to be」などを用いて、正しく分析をして明確な目標を設定しないことには最適な施策を考えられないと思うが、市の見解を問う。**

答 次期総合戦略の策定に当たり、しっかりと分析をした上で、取組状況に対する成果を客観的に測定し、評価できる適切な数値を設定することで実効性のある計画の策定を目指す。



志政いわくに
丸茂郁生 議員

南海トラフ巨大地震への備えについて

問 市民に臨時情報への理解をより深めてもらうために、市報などで特集を組んで周知に努めるべきではないか。

答 一人一人が迅速かつ主体的に避難行動を取ることが重要なため、市報等で周知を行う。

問 防災ガイドブックをより多くの方々に活用してもらうために、配布について考えていただきたい。

答 様々な機会での配布を考え、防災意識の向上を図っていく。

問 災害拠点となる病院に医薬品や医療材料等を確保するための補助事業があるが、これを一般病院にまで拡充する考えについて問う。

答 医療関係者が集う機会を捉えて協議を進めていく。

問 事前復興を考える上で、被災時に罹災証明書を迅速に発行するため、住家被害認定調査を行う人材を養成しておくべきではないか。

答 被災者のできるだけ早い生活再建につながるよう、平時から取り組んでいく。

▶その他の質問

・難病患者への支援について
・高校生（18歳）までのこども医療費の無償化について

総合計画と国土強靭化地域計画の連携を問う

公明党議員団
桑田勝弘 議員

問 両計画の位置づけと関係性について問う。

答 我が国においては、様々な大規模自然災害等への対応が重要課題となっている。本市において、様々な災害リスクを見据えつつ、どのような災害が発生した場合でも、最悪な事態に陥ることが避けられるような強靭な行政機能や地域・経済社会などを作りあげていくため、令和4年に「岩国市国土強靭化地域計画」を策定した。本計画は、本市の最上位計画である総合計画と連携を図り、国土強靭化に向けた各種関連計画の指針として位置づけている。また、安心・安全な地域・経済社会が構築されるよう、目標を定め、その実現に向けた施策を示している。こうした施策を推進するに当たり、総合計画に掲げるまちづくりの将来像の実現に向け、優先度の高い、向こう3年間の投資・政策的事業を取りまとめている「まちづくり実施計画」に登載することで、実効性を担保し、計画的な事業の推進を図っている。

一般質問

※議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くこと

憲政会
植野正則 議員

ライドシェアについて

問 岩国市においては、市民の移動手段について考え得る各種の施策を講じているが、既存施策を支えているドライバーの高齢化や働き方改革により、市民の要望に応えられない部分について、一般ドライバーによる有償運送サービスを提供する公共ライドシェアの導入を検討し、市民の選択肢を増やしていくことについて市の考え方を伺う。

答 国においては、一般ドライバーによる有償運送サービスを提供する「日本版ライドシェア」を本年4月からスタートさせたところである。本市においても、今後ライドシェアなどの新たな運行形態については、運行の利便性・効率性などを検証するとともに、住民や交通事業者の意見をお聞きすることで、それぞれの地域の実情に沿った検討を進めていきたいと考えている。

錦川上流域の氾濫対応策を！

市民の声をきく会
中村恒友 議員

問　山口県管理河川、錦川上流域では、豪雨時に氾濫危険水位を越える水位となり、流域住民の生活不安の関心事となっている。その安全・安心対策について問う。

答　錦川流域では、過去、錦帯橋を流出させた昭和25年のキジア台風や翌26年のルース台風をはじめ、記録的な洪水に見舞われて、甚大な被害を受けた。現在作成されている「錦川水系河川整備計画」に沿って流域住民の皆様が安心して生活できるよう、洪水に対する菅野・平瀬ダムなどダム群の効率的な運用、流下能力向上のための築提及び護岸整備、河床掘削・堆積土砂撤去など、河川管理者である山口県に対し、引き続き要望し、県・市が連携しながら、洪水対策を進めていく。

2022年9月19日　台風14号

水位局	氾濫危険水位	最高水位
南桑	6.60m	9.19m
錦橋	4.30m	8.98m
臥龍橋	5.30m	6.82m
出合	4.90m	8.15m

錦帯橋の世界文化遺産登録に伴うまちづくり

市政改革クラブ
細見正行 議員

問　岩国市、山口県のシンボル錦帯橋は昨年、創建から350年を迎えた。現在、岩国市では官民を上げて様々な事業に取り組み、世界文化遺産登録に向けて努力している。先般、世界遺産登録につながる「暫定リスト」入りも大きな期待が持てるとのマスコミ報道もあった。錦帯橋が世界文化遺産に登録されれば直ちに来訪者が増える。早く大勢の来訪者に満足していただけるまちづくりをしておくべきではないか。また、リピートしていただく、まちづくり・まちおこしについての施策を問う。

答　7月に「佐渡島の金山」が世界遺産一覧表に記載され、錦帯橋の暫定リスト入りも期待されている。将来、錦帯橋が世界文化遺産に登録されれば、観光客の増加により宿泊施設や食事場所の不足、道路の渋滞やごみ問題などが懸念される。全ての観光客が快適に滞在でき、錦帯橋や城下町の魅力を感じられるような世界遺産にふさわしい環境を整えていく。

障害者の就労支援に向けて

公明党議員団
中村　豊 議員

問　宇部市では障害者の自立促進のため、「ワークステーション」を設置し、知的障害者や精神障害者などを会計年度任用職員として雇用し、働くためのスキルを習得させ、民間の障害者雇用の促進を図っている。岩国市においても障害者の訓練の場として、障害者の就労意欲を高めるために同様の「ワークステーション」の設置を求めるが、見解を問う。

答　障害者の適性に合った就労促進・就労定着の実現に向けて努めていきたいと考えている。「ワークステーション」の設置については、障害者雇用の促進を図り、障害者の自立を促進し、就労を支援するため、有効な手段の一つであると考える。岩国市として、他の自治体における設置状況などを研究し、ワークステーションでどのようなことができるか検討していく。

志政いわくに
矢野匡亮 議員

災害対策用備蓄品について

問　本市の災害対策用備蓄品の備蓄量は適切なのか。

答　大規模災害時は本市の備蓄品のみで対応することは困難な状況であることから、県内市町のほか、同時被災のおそれが少ない県外市町との相互応援協定に基づく救援物資や、民間事業者との防災協定に基づく流通備蓄、さらには各家庭における備蓄品により、必要な量を確保したいと考えている。しかしながら、本市の備蓄品は、近隣の市と比較しても少なく、十分ではないため、現在、改めて備蓄品目や数量及び備蓄場所などについて整理している。

災害用備蓄品　非常食数

	非常食［個］				人口［人］	比率［%］
	ごはん	パン	その他	合計		
山口市	5,872	7,122	0	12,994	191,500	6.79
下関市	7,450	1,836	11,520	20,806	248,200	8.38
防府市	5,000	0	820	5,820	114,800	5.07
周南市	10,000	0	600	10,600	137,000	7.74
岩国市	1,810	1,508	0	3,318	127,500	2.60

	その他　内訳	ミルク類
山口市		液体540、粉20、アレルギー8
下関市	ﾚﾄﾙﾄ9,180　ﾋﾞｽｺ1,860　ｾﾞﾘｰ480	液体264
防府市	ﾚﾄﾙﾄ420、離乳食200、おかゆ200	ｷｭｰﾌﾞﾀｲﾌﾟ192、ｱﾚﾙｷﾞｰ6
周南市	ﾊﾟｽﾀ500、うどん100	液体96、粉96
岩国市		

クーリングシェルターについて

公明党議員団
奥江徳成 議員

問　令和6年7月に視察に行った伊丹市では、施設の入り口などに市指定クーリングシェルターであることが分かる「クーリングシェルター・マーク」等を表示していた。本市としても、分かりやすい表示が必要だと思うが、見解を伺う。

のぼり
60cm×180cm

マグネット
11cm×18cm

答　本市では、環境省において「クーリングシェルター・マーク」を作成し、活用を推進していることは承知しており、指定施設に表示を依頼しているところである。クーリングシェルターは、始まったばかりの取組であり、このことを知らない、どこか分からないという市民の方々もいると思うので、表示方法について、指定施設の状況も確認しながら、今後も工夫していきたいと考えている。

同志会
石原　真 議員

実効性のある地域計画の策定を！

問　農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域農業の存続が危ぶまれるため、10年後を見据えた「地域計画」の策定が義務づけられた。今回の「地域計画」を実行性のある計画にすることが重要である。策定に向けてどのように進めていくのか。また、農業施策にどのように反映するのか。

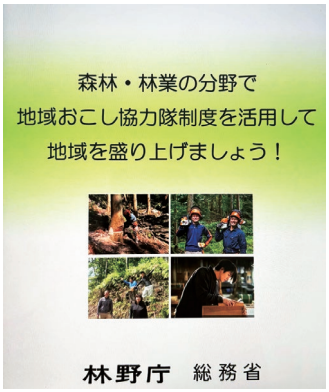
答　人・農地プランを策定した市内30地区を中心として、意見交換会を開催し、地域の担い手の方々の意見をお伺いしている。地域の農業者、農業委員会、農地中間管理機構、JA、土地改良区などの関係者の意見も反映させた、地域共通の目標として定めるものであり、策定に向けた意見交換会を通じて、市と農業者との間でより深い話合いができている。また、関係機関の取組の共有や、農業者同士の情報交換にもつながっている。策定後も定期的に意見交換を開催し、随時見直しを行うとともに、必要な取組について適宜農業施策に反映していきたい。

市民クラブ・草の根
広中英明 議員

自伐型林業の推進

問 **島根県津和野町では、自伐型林業を推進し、地域おこし協力隊を業務に据えて、取り組んでいる。地域おこし協力隊の3年の任期終了後、11人のうち10人が町内に残り、8人が自伐型林業で生計を立てているとある。岩国市でも取り組んではどうか。**

答 議員御提言の自伐型林業については、担当部局としても興味を持っている。市としても、どのような支援があれば、自伐型林業に取り組みやすいのか調査研究する。また、議員御紹介の津和野町のような先進地への視察も検討していく。地域おこし協力隊の導入については、地域や所有者の意向もあるので、今後担当部局と協議を行う。



10年後の本市の水田農業について

問 **これまで地域の水田農業を支えてきた小規模個人農業者の高齢化が進み、離農者の増加が予測される中、10年後の水田農業を持続可能なものとするため、担い手の育成や農地の集約等、営農環境の整備等の取組が急がれる。折しも、地域農業経営基盤強化促進計画に係る地域計画の策定が進められているが、地域計画に併せ、農水省の事業である「農村RMO（地域の複数の多様な機能を補完し、農用地の活用・保全活動や農業を核とした経済活動や生活支援等地域コミュニティーの維持に取り組む組織の育成や地域活動支援事業）」の導入に取り組まれてはいかがか。**

志政いわくに
藤重建治 議員

答 高齢化の進む中、10年後には中山間地域の水田農業経営者の多くが離農することが予測される。このことに対処するためにも、地域計画の策定と併せ、提言いただいた「農村RMO」の事業化は有効と考えており、今後、周東町で地域の強い要望があれば市としても先進事例として取り組んでみたい。

公明党議員団
野本真由美 議員

早期避難場所の環境改善を！

問 **エアコンのない早期避難場所の今後の対応について問う。**

答 エアコンに代わる代替品の設置またはレンタル等、効果的な対応策や時期を調査検討していく。

問 **早期避難場所に折り畳み式簡易ベッドを確保すべきではないか。**

答 間取りや設備、備品などを詳細に確認、調査した上で検討していく。

問 **全国の自治体で導入の進んでいるトイレトレーラーを導入してはどうか。**

答 調査していくが、現在のところ簡易トイレや仮設トイレの供給等で対応したいと考える。

熊に対応するクマレンジャーの処遇について

志政いわくに
藤本泰也 議員

問 **ここ数年、熊の出没が大変多く、最近では毎日のように目撃情報や農作物等の被害情報が流れ、本郷町では熊による人身被害も発生した。熊は他の有害鳥獣に比べ、はるかに危険な動物であることは承知のことと思う。これに対処する猟友会で組織されたクマレンジャーへの処遇について伺う。**

答 近年、熊の目撃・痕跡情報や、農作物被害が増加する中で、クマレンジャーへの負担が増加している。加えて、イノシシ用の箱わなや、くくりわなで熊が捕獲されたときの対応等、非常に危険を伴う現場対応も発生している。猟友会の意見をしっかり伺い、活動の意欲を失うことがないよう検討していく。

教育の課題について

リベラル岩国
姫野敦子 議員

問 **不登校児童・生徒への支援、学びたい学生への給付型の支援、GIGAスクールにおけるAIドリル等の活用を取り上げた。中でも本市の令和5年度における不登校児童・生徒の速報値は、330人と増加傾向。そのうち約50人は、市内の4か所に設置した教育支援教室利用。それ以外の児童・生徒、特に小学校1年生から4年生の児童は、支援教室での受入れもなく、フリースクールもないため受皿不足ではないか。対応を問う。**

答 ステップアップルームや市立小・中学校にある相談室などに登校している児童・生徒もおり、常駐の教員が個別の支援を行い、学級への復帰に向けて取り組んでいる。また、不登校傾向にある児童・生徒に対してきめ細かな連絡体制「心の支援員」や「とどける」家庭教育支援、電話連絡や家庭訪問を小まめに行うなど、家庭との連携を密に取るようにしている。加えて、保護者へのピアサロンも工夫して開催している。

在日米軍再編、機種更新による影響を問う

市民クラブ・草の根
重岡邦昭 議員

問 **数年後に、鹿児島県・馬毛島に自衛隊基地が完成する。今回、空母の交代等で機種が更新され、米軍岩国基地にCMV−22オスプレイ、F−35Cステルス戦闘機が初めて配備される。さきの全員協議会において、防衛省は、機種更新による岩国基地に関連する運用について、飛行回数、飛行ルート、訓練空域に変更がないという説明であった。しかし、馬毛島基地が完成すれば、米軍岩国基地から400キロメートルと随分近い距離にFCLPの訓練場ができ、訓練が増加し、運用が大きく変わると考えられる。ついては、本当に防衛省の説明どおり運用の変更はないのか問う。**

答 国からは、馬毛島の施設には、FCLP実施時に米軍要員が宿泊するための宿舎が整備されることから、FCLPの訓練期間中、空母艦載機は馬毛島に駐機し、岩国基地に帰還することはない旨の説明を受けている。したがって、岩国基地周辺における飛行経路や、1日の標準飛行回数への影響はないと考える。

日本共産党市議団
長岡辰久 議員

自治会の仕事と行政の仕事の明確化について

問 市の仕事である市報配布は、市から自治会に報償が出ている。一方、市の仕事である河川清掃を自治会が行い、高齢化等でできないときは、自治会費で業者に依頼している。河川清掃は自治会でなく市が行うべきではないか。

答 要望が増えており苦慮している。どのような支援が効果的か検討する。

問 街区公園の草刈りに「地域ささえ愛交付金」は活用できないか。

答 活用できる。

▶その他の質問

・カーボンニュートラル時代における行政の役割について

（1）行政施設をカーボンニュートラルにすることについて

（2）市民への啓発と支援について

食物の安定確保を求める

日本共産党市議団
小川安士 議員

問 8月には全てのスーパーで米が売り切れて、次の入荷日も分からない状況になった。開店直後に買物に行き、運がよければ日頃の価格の2倍の値段で少量だけ買える状況だが、今後の見通しはどうなっているのか。

答 市内の供給可能な米の量の把握は困難だが、稲刈りが進んで新米が出回り始めているので、品薄状態は解消していく。必要量だけを買っていただきたい。

問 口に入ってこその食料だから、倉庫にあるだけでは行政責任が果たせない。国や県に何らかの働きかけをしたのか。

答 米は流通が自由化され、国も米の取引業者に円滑な流通を働きかけているので、岩国市独自の働きかけはしていない。

日本国民党岩国
石本 崇 議員

大規模開発が熊出没につながった可能性あり

問 市内で熊の目撃情報が多発しているが、美和町のメガソーラーのような大規模開発も熊の出没増加につながっているのではないか。

答 大規模な森林開発によって熊などの野生動物が生息地を失うことや行動パターンに影響を与えたことが出没増加につながった可能性はある。事業者から年間300万円の寄附金の申出があり、どのような熊対策ができるかも含め、今後検討したい。

問 新型コロナワクチン接種については、800人近い死亡、7,000人を超えるその他の健康被害を国が認定しているが、健康被害が生じた場合の救済について問う。

答 予防接種健康被害救済制度により給付申請を受け、調査委員会を開催し、助言等を受け、国へ進達。国において開催される審査会を経て、厚生労働大臣が認めた場合に医療費や医療手当を給付する。いずれにしても、接種の有効性や安全性、副反応などについて理解した上で、接種するかどうかの判断をすることが重要と考える。

全員協議会の報告

市議会が国に対し、岩国基地での機種更新等を質疑

岩国市議会は、8月23日に、三宅防衛大臣政務官、貝原外務省北米局参事官らの出席のもと、岩国基地での機種更新等につき、全員協議会を開催しました。

まず、国から、岩国基地での機種更新に係る2つのプログラムについて、米側から受けた説明の報告がなされました。

【米側から国が受けた機種更新計画の要旨】

1　空母ロナルド・レーガンのジョージ・ワシントンへの交代に併せた、米海軍の艦載機部隊である「第5空母航空団の機種更新」について

①4つの戦闘攻撃飛行隊のうち、1個飛行隊について、F／A－18スーパーホーネットの飛行隊からF－35Cの飛行隊に更新。

②C－2輸送機の飛行隊からCMV－22オスプレイの飛行隊に更新。

2　全国的な戦闘機の更新プログラムである「在日米軍施設・区域における戦闘機に係る態勢の更新」について

①在日米軍のプレゼンスを維持・強化し、日米同盟の抑止力・対処力をさらに強化するため、米空軍は三沢飛行場及び嘉手納飛行場に、米海兵隊は岩国飛行場に配備等している戦闘機について、今後数年をかけて態勢を更新。

②岩国飛行場については、常駐部隊のF－35Bを若干減少させつつ、ローテーション部隊のF／A－18をF－35Bに更新する。

国からの説明を受けて、会派ごとに、市民の安心・安全性の確保、事件事故の再発防止、騒音の軽減、住宅防音事業の充実、地域振興策など様々な視点から、国に対して、活発な質疑がなされました。

委員会の視察報告

議会広報

7/3 埼玉県草加市　見てもらえる議会ホームページ
7/4 静岡県富士宮市　高校生の意見を反映した議会だより
7/5 栃木県宇都宮市　小学生模擬議会、議場コンサート

若者にも目を向けた情報発信を始動！

議会広報特別委員会では、視察先の富士宮市及び宇都宮市の取組から着想を得て、若者に目を向けた議会広報の取組として、「市内中学校以上の教育機関の図書館などに議会だよりを配架」「キッズ用　市議会パンフレットの作成」をいたします。また、市議会の活動を一層お伝えしていくため、「市公式LINEからの情報発信」をいたします。市公式LINEの受信設定にて「配信を希望するお知らせ2」から「市議会からのお知らせ」を選択していただきますと、通知を受け取れます。

本委員会は引き続き、調査研究に基づく実践を重ね、積極的な情報発信を展開していきます。

議会運営

7/24 京都府舞鶴市　議会防災訓練
7/25 兵庫県宝塚市　特色ある議会運営
7/26 兵庫県三田市　議会改革の取組

新しい議会の姿を生み出す取組を調査！

議会運営委員会は、議会をスムーズに運営するための話合いを行う委員会です。定例会の日程や本会議の進行手順を話し合ったり、議会に関するルールについて話し合ったりしていますが、このたび、新しい議会の姿を目指す取組を調査し、魅力ある議会を目指して先進地視察を実施しました。舞鶴市では、本会議や委員会中の災害発生を想定した議会防災訓練・オンライン会議の導入について、宝塚市では、委員会での論点整理と議員間の自由討議の導入について、三田市では、議会基本条例の運用についてなどを調査しました。

本委員会では、この視察で得た知見を今後の委員会活動に生かしていきたいと考えております。

委員会の活動報告

中山間地域振興施策調査特別委員会

【あなたの声をかたちに！地域の皆様との意見交換会】

9月4日に岩国西商工会青年部玖珂支部、周東支部、由宇支部の皆様と意見交換会を実施しました。生活環境や産業等の議題に沿って、出席された方々に考えを書き出していただき、その意見を全体で共有しながら交通や観光、商店街のことなどについて、商工会の皆様と委員で熱心に協議を行いました。

また、9月21日には柱島、端島、黒島の3島を回り、島の状況や課題、要望等を直接お聞きしました。イノシシによる被害、トイレの水洗化の要望、訪問客を受け入れるための環境整備、漁業や農業振興などについて、島民の皆様から多くの御意見を頂きました。

今回お聞きした内容については、担当部署と共有するとともに、市政に反映していくよう、委員会活動を進めてまいります。

錦帯橋フォトコンテスト受賞作品の展示

12月定例会の一般質問実施期間に合わせて、錦帯橋世界文化遺産推進フォトコンテスト2024の受賞作品が展示されます。

受賞作品の観覧とともに議場にもお立ち寄りいただき、一般質問の様子を御覧いただけますと幸いです。

本紙16ページに12月定例会の日程を掲載しておりますので、併せて御確認ください。

○ 展示期間：12月6日から12月12日まで
○ 展示場所：市役所6階　議場周辺

市公式LINEで市議会の情報発信を開始！

岩国市議会は、より多くの人に情報発信するため、8月15日から市公式LINEでの配信を開始いたしました。

議会の日程や広報紙「いわくに市議会だより　See議会」などの情報を受け取ることができますので、ぜひ御登録ください。

閲覧を希望する方は、LINEヤフー株式会社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」をインストールし、LINE公式アカウント「岩国市」を友だち追加後に、受信設定にて「配信を希望するお知らせ2」から「市議会からのお知らせ」を選択していただきますと、通知を受け取れます。

QRコードを読み取ると友だち追加ができます。

11月臨時会
11月18日(月)開会予定です。

12月定例会
11月27日(水)開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27 開会	28	29	30
12/1	2	3	4	5	6 一般質問	7
8	9 一般質問	10 一般質問	11	12	13 委員会（経済）	14
15	16 委員会（教民）	17 委員会（建設）	18 委員会（総務）	19	20	21
22	23 閉会	24	25	26	27	28

※日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください

議場に心が和む「生け花」

9月定例会の一般質問の間、「専心池坊岩国支部」の方々に生け花を展示していただきました。

編集後記

議会だよりをリニューアルして以降、「読みやすく、分かりやすくなった」などの御感想をいただき、委員会としても大変励みとなっております。

今後も皆様に市議会を身近に感じていただけるよう、さらなる改善を進めていきます。その取組の一環として8月15日から、市公式LINEでの情報発信を開始いたしました。内容は議会だより及び次回定例会の日程となっております。こちらも御活用いただけますと幸いです。

議会広報特別委員会

【議会広報特別委員会】
委員長：矢野　匡亮
副委員長：野本真由美
委員：川口　隆之
武田伊佐雄
長岡　辰久
広中　信夫
広中　英明
松川　卓司

目の不自由な方へ

いわくに市議会だより「See議会」の音声データを希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。（議会事務局　議事課　TEL 29-5193）

発行／岩国市議会　〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号　TEL(0827)29-5193　FAX(0827)21-1001
編集／議会広報特別委員会　印刷／フジ美術印刷株式会社　https://iwakunishigikai.jp

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。